

歴史の重みを感じ、記念式典に出席した北上翔南高校の生徒



歴史と伝統を引き継いで 北上翔南高創立90周年

相去町の県立北上翔南高校(佐藤利行校長、生徒715人)創立90周年式典は10月31日、同校で行われました。全校生徒をはじめ、教職員や同窓生らが出席し、校訓の「進取・創造」を胸に、新たな歴史を積み重ねることを誓いました。

同校は大正8年4月、黒沢尻町立黒沢尻実科高等女学校として開校。昭和29年に黒沢尻南高等学校と改称しました。平成16年には男女共学の総合学科の北上翔南高等学校として開校し、校舎を鍛冶町から北上農業高校跡地に移転しています。

黒沢尻工業が県大会制覇 16年ぶり花園出場決める

第89回全国高校ラグビー大会県大会決勝は10月25日、盛岡南公園球技場で行われ、県立黒沢尻工業高校が盛岡工業高校に36-10で勝利し、16年ぶり24度目の全国大会出場を果たしました。

黒沢尻工は前半5分に高橋拓也選手が先制トライ。その後8-10と盛岡工に逆転されたものの、得意のフォワードを起点にした攻撃で試合を優位に運び、5トライを挙げ栄冠をつかみました。同校は12月27日から東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催される全国大会に岩手県代表として出場します。



優勝旗を手に歓喜を上げる黒沢尻工業フティーン(盛岡南公園球技場)

来年1月公演に向け結束 市民劇場スタッフが初顔合わせ

第33回北上市民劇場の初顔合わせ会は3日、さくらホールで開かれました。役者やスタッフら25人が出席。平成22年1月30日、31日の公演に向け結束を固めました。

今回のテーマは、「藩境に生きた人々のものがたり」。和賀町岩崎の作家・斎藤駿一郎さんの著書『御境塚ものがたり』を原作に、12回のワークショップを重ねて完成させました。演出を担当する三宅良二さんは「ワークショップでいい台本ができた。もっと人を集めて、いいお芝居にしていきたい」と期待を込めました。

舞台の成功を祈り、参加者一同で氣勢を上げました



ピアンコリーノを持つタヴェルナ店の太田史弥さん

県コンクールで最優秀賞 アリーブのピアンコリーノ

県ふるさと食品コンクール表彰式は8日、アイーナ(盛岡市)で行われ、(株)アリーブ(古舘英樹社長)の洋菓子「ピアンコリーノ」が最優秀賞を受賞しました。

今回で23回目を迎える同コンクールには43団体から76品が出展。ピアンコリーノは一戸産のヨーグルトとチーズを主原料に、遠野産のブルーベリーと北上産のイチゴのソースをかけたスイーツです。地産地消のこだわりと完成度の高さが評価されました。受賞者を代表して、古舘社長は「岩手の素晴らしい食材を使って商品開発をしていきたい」とあいさつしました。

百歳おめでとございます

佐藤めよさん

和賀町横川目の佐藤めよさんが百歳を迎えられ10日、ふるさと体験館「北上」でお祝いの会が開かれました。会には家族のほか伊藤市長も訪問し、記念品と祝い状を送りました。

めよさんは明治42年11月10日、花巻市生まれ。20歳の時に故佐藤源治さんと結婚し、子ども7人、孫16人、ひ孫27人、やしゃご6人に恵まれました。好物は漬物と山菜、若いころはお酒もたしなんだそうです。伊藤市長から記念品を受け取ると、「ありがとうございます」と元気にあいさつをしていました。

集まった家族を前に祝いの踊りを披露する佐藤めよさん(左)



千田フミさん

稲瀬町の千田フミさんが百歳を迎えられ4日、入所している老人保健施設ハイム・アザレア(奥州市)に市長が訪問し、記念品と祝い状を送りました。

フミさんは明治42年11月3日、奥州市江刺区生まれ。農業一筋で生計を立て、子ども5人、孫11人、ひ孫10人、やしゃご1人に恵まれました。根っから丈夫で、病気はしたことがないというフミさん。好き嫌いなく何でも食べ、大好物はおもちなそうです。手遊びをしながら、駆け付けた家族に「ありがとう」と笑顔で話しかけていました。

家族と一緒に手を合わせてほほえむ千田フミさん(中央)



威勢のよいバチさばきを披露する相去藩境太鼓



宝くじは縁の下の力持ち 相去地区で太鼓を整備

相去地区自治協議会(千田智志会長)主催の第7回相去ふるさとまつりは1日、相去体育館を中心に開かれ、芸能発表や文化祭、健康まつりなどがにぎやかに繰り広げられました。

まつりは相去藩境太鼓の勇壮な演奏でスタート。同協議会では、地域活性化のため昨年夏に同太鼓団体を結成。これまで他団体から太鼓を借りて演奏していましたが、宝くじの助成を受けて和太鼓を整備しました。相去藩境太鼓の照井勉会長は「これからも技を磨いて皆さんに披露していきたい」と抱負を語っていました。

実りの秋に感謝をささぐ JA北上統括支店で農業祭

JAいわて花巻(高橋専太郎組合長)の北上地域農業祭は7日、8日の両日、流通センターの北上統括支店で開かれました。開会式では高橋組合長が「一年間丹精込めて作った農産物をご賞味ください」とあいさつ。農産物の販売やいものこ汁の無料配布、もちまきなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

北上調理師会は北上コロッケの新作2種類を試験販売。2日間限定で作られたのは、キムチ入りの「赤鬼君」、桑茶パウダー入りの「青鬼君」。変わり種のコロッケは、道行く人の注目を集めていました。



熱々のいものこ汁の振る舞いには大行列ができていました